

04 春闘推進ニュース

全労連ニュース速報

NO.805

2004/06/08

全国労働組合総連合

TEL:03-5842-5611

FAX:03-5842-5620

許すな！ 雇用・賃金・年金破壊 守ろう！ 平和と憲法

有事関連法案 与党成立ねらう

参考人質疑や公聴会開かずごり押しの恐れも

本日の有事関連法案を審議する特別委員会の理事懇談会は、明日へ持ち越しとなり、委員会の開催は10日に開催される見込みとなりました。

与党は、あくまでも成立をねらっており、参考人質疑や公聴会も開かず、数の力で押し切る恐れもあります。会期末まで残すところ16日まで6日となりました。小泉首相はサミットから14日に帰国し、本格的論議は3日しかありません。

年金改悪法案の強行採決の国民の怒りの声は70%～80%にもなっています。年金法案への抗議と有事法案の廃案めざして最後まで粘り強く運動を進めましょう。年金保険料10月引き上げをストップさせるためにも、参議院選挙では改悪法案撤回の国政を実現させましょう。

当面の国会行動

- ◆09日(水) 12:15～13:00 参議院議面行動・議員要請行動
- ◆10日(木) 12:15～13:00 参議院議面行動・議員要請行動
- ◆16日(水) 12:15～13:00 第159回通常国会会期末
参議院議面行動を実施します。
- ◆ 有事関連法案の傍聴行動は、委員会開催の場合に行ないます。
現状では10日の開催が見込まれます。わかり次第連絡します。

86%「審議が十分ではない」 年金改悪法のテレビ世論調査

自民・公明が成立を強行した年金改悪法案について、国民の大部分が審議を不十分と考え、改悪法を支持する人は極めて少ないことが、7日発表された世論調査でわかりました。TBSテレビとテレビ朝日がそれぞれ発表したもの。

改悪法の審議過程についてみると、TBSテレビ調査では、年金制度改革法の審議が「十分だった」と回答したのは7%に過ぎず、「十分でなかった」との回答が86%にのぼりました。自民党支持者でも78%が、審議は「不十分」と答えています。テレビ朝日調査では、与党の審議の仕方について「問題があると思う」が75.1%、「思わない」が10.7%でした。成立した年金改悪法に対して、TBS調査では77%が「成立は見送っても良かった」と回答。「今国会で成立させる必要があった」は17%でした。テレビ朝日調査では、改悪法を「支持しない」が59.6%、「支持する」は18.8%でした。調査はいずれも5日、6日の両日に、全国で行なわれました。(しんぶん赤旗 6/08 付け)